



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市体育館
 試合区分：成年女子 1回戦
 開催期日：2009年10月2日（金）
 開始時間：13:30

GAME No. 1002D3

主審：玉木 彰治
 副審：丸山 大

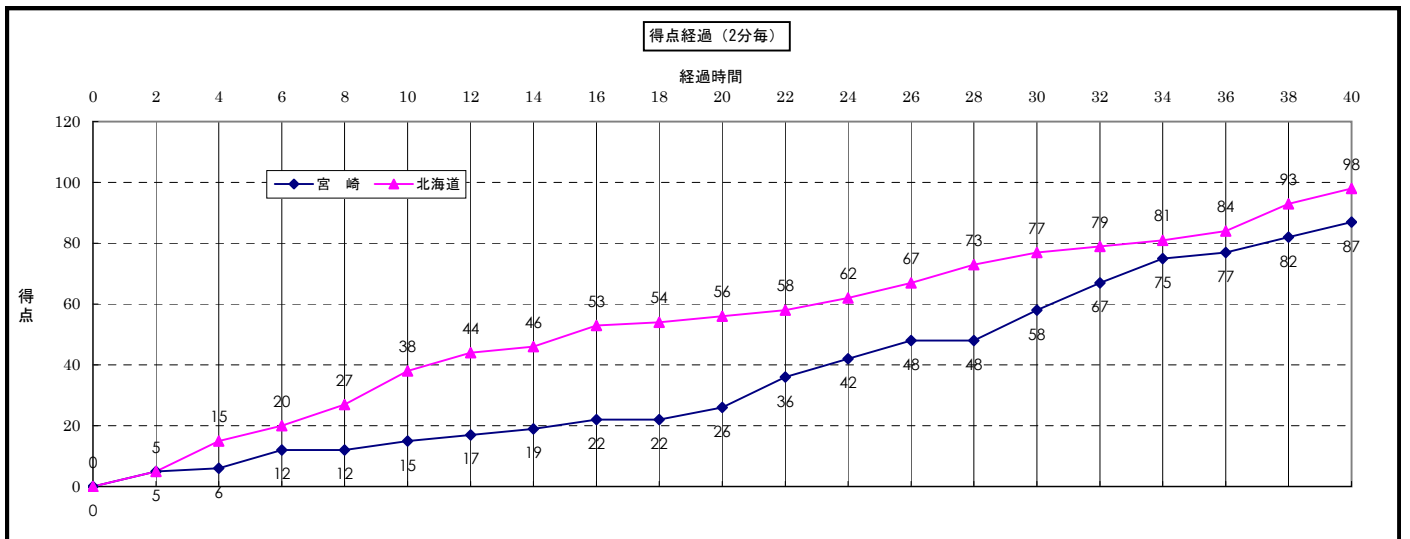
Team A	●	15 -1st- 38 11 -2nd- 18 32 -3rd- 21 29 -4th- 21	○	Team B
宮崎	87		98	北海道

TEAM A		宮崎					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		豊永 梨紗	15	5	0	0	4
5	*	宮本 理沙	22	3	6	1	3
6	*	早田 絵里菜	18	2	4	4	2
7	*	小松 幸	12	4	0	0	4
8		森田 千尋	2	0	1	0	3
9		池上 瑠璃	6	2	0	0	3
10		松田 友里香	-	-	-	-	-
11	*	甲斐 望貴恵	2	0	1	0	2
12		小島 美菜子	0	0	0	0	0
13	*	池上 千紗	2	0	1	0	5
14		田原 日向子	8	0	4	0	2
15							
Coach		横山 祥子					0
TOTAL			87	16	17	5	28

TEAM B		北海道					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		仁部 さおり	0	0	0	0	1
5		横山 祐子	-	-	-	-	-
6	*	高橋 伸素美	5	1	1	0	0
7		安澤 祐貴	-	-	-	-	-
8	*	三浦 春日	17	2	4	3	2
9	*	長内 ほのか	20	5	2	1	2
10		黒川 幸恵	4	1	0	1	1
11		五十嵐 美和	3	0	1	1	2
12		恩田 倫恵子	21	2	6	3	2
13	*	大鷹 さおり	12	3	1	1	3
14	*	富士 佳恵	16	0	4	8	2
15							
Coach		幸丸 政実					0
TOTAL			98	14	19	18	15

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	4:23	14:13	27:41	36:02	38:00		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	-	-	20:55	-	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。宮崎 #6 早田のレイアップシュートで先制をする。その後は両者ともに得点を重ねる。残り7分で北海道 #9 長内、#13 大鷹、#8 三浦、#6 高橋の3Pが4連続で入り、宮崎たまたまタイムアウトを取る。タイムアウト後、#5 宮本、#6 早田のドライブインなどで攻めるが、リングに嫌われ点数が伸びない。北海道は、#14 富士のセンタープレイ、#12 恩田の3Pで得点を重ね、15-38と北海道がリードをして1Q終了。

2Q、北海道は #12 恩田のセンタープレイで得点を重ねる。対する宮崎はドライブインで速いゲーム展開をするが、なかなか点数に結びつかない。後半宮崎 #4 豊永、#6 早田が3Pを打つがならず。残り1分、宮崎はハーフコートプレスにディフェンスを変え #6 早田の連続得点で追うが、26-56で終了。

3Q、宮崎はディフェンスをオールコートマンツーマンプレスに切り替えて流れを変える。宮崎 #8 森田のセンタープレイ、#6 早田のドライブインで得点を重ねる。対する北海道は、宮崎の激しいプレッシャーの中、#12 恩田、#8 三浦がドライブインを決める。残り5分をきったところで宮崎はチームファールが4つとなり、プレッシャーが弱まり北海道 #9 長内、#13 大鷹の3Pが決まりだした。残り2分宮崎のタイムアウト。タイムアウト後宮崎は、ディフェンスのプレッシャーを強め、#6 早田の3P、#5 宮本のターンオーバーから得点で追い上げ、58-77で終了。

4Q、宮崎が3Qから引き続きオールコートマンツーマンプレスでプレッシャーをかけ続け、北海道のミス誘い #7 小松、#4 豊永の3Pが立て続けに5本入り一気に点差を縮める。残り7分で6点差にするが、宮崎にも疲れが見え追い上げが止まった。残り2分宮崎がタイムアウトをとり、ファールゲームに持ち込むが、北海道はフリースローを確実に入れ87-98で北海道が逃げ切った。

記載責任者	古澤 康弘	(所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	-------	------	---------------